

近畿支部会報2011年10月秋号

東日本大震災や台風で各地に多くの被害を負った日本、亡くなられた方のご冥福と、被災された方が一日も早く良い状態を取り戻される事を心からお祈りします。この様に自然は恐ろしいものですが、その同じ自然が、もうすぐ快い秋を届けてくれます。自然との共生、難しい問題ですね。



皆様、既に SI News August-September 2011 をご覧頂いたと思いますが、"Exposition Servas En Barcelona"という記事があります。その記事にたった1枚採用されている写真は、何と私たち近畿支部の若い会員が写して送ってくれたものです。写真は17カ国のサーバスから集まり、日本は2つの支部から送りました。そのたくさんの中から、彼女たちの写真が採用されたなんて感激です。彼女たちに大きな拍手を送りましょう。

又、S様のお力で近畿サーバスのグループメールが立ち上がりました。今まで会員への一斉連絡は、支部長のみが行なっていましたが、これからは全ての会員の皆さんから発信してもらえます。皆が支部の主人公、多くの声を寄せあい、皆でより良い近畿支部を作っていきましょう。

今回の会報は、次の内容でお届けします

- | | |
|------------------|---|
| 1、例会報告..... | 支部長 |
| 2、トラベラー報告..... | イタリア旅行 M.Y
フランス旅行 H.N
九州サーバス例会に参加して A.K |
| 3、トラベラー受け入れ報告... | イスラエルのお客様 T.S
音楽の都 Bonn からのお客様 K.K |
| 4、お願いとお知らせ..... | 支部長 |

1、例会報告

支部長

日時：2010年9月19日 場所：大津市旧大津公会堂

出席者：本部役員2名 支部役員5名 会員9名(滋賀5 大阪3 奈良1) 家族1名
会員外1名 計18名

東日本大震災以来、想定外の事がよく起こっています。私たちの近畿支部でも流行に遅れじとばかり、想定外の事、それも嬉しい方の想定外が起こりました。何かというと、参加者数で

す。いつもの例会では「どの位集まるだろうか、たくさん来て下さったら良いなあ」とばかり思っていました。この度の例会では、何と18名の参加者があり、今までの最高でした。会場も大津の会員さんが、浜大津の駅近く、窓越しには琵琶湖が見える格好の場所に、リフレッシュオープンしたばかりのレトロな旧大津公会堂を見つけて下さいました。例会は、大津西武から運び込まれた秋の薫り高い松茸ごはんや栗ご飯が詰まったお弁当の楽しい一時から始まりました。お弁当の後、議題を討議し、その後は映像を交えた会員からの外国旅行の話や、九州の例会に行っておられた方の報告に、ゆったりと楽しい時を過ごせた例会でした。



参加者からの感想

* 先日の例会は、お世話様でした。参加者も多く、やはり参加者が多いと議題も多くの方の意見がでて、充実していいように感じました。三人の方の、トラベラー報告がよかったです。Mさんのイタリアの旅は、楽しい旅をされたのが伝わってきて、イタリアへ、行ってみたい気持ちになりました。これからも皆様の、楽しいサーバストラベルの報告を楽しみにしております。 K . K

* 気持ちのよい会場で和やかな支部例会、ありがとうございました。 T . M

* “今回の例会では大津やその他地域の皆様、また、入会間もない方々ともお会いでき、良い出会いが得られ有り難うございました。また、皆様のお話を伺うと改めて日本 Servas の長い歴史を感じました。 S . H

* 一昨日は有難うございました。皆さんとお会いできてよかったです。でも、やはり会議は苦手です。遊びの比重を増やしてください。大津で開催していただきありがとうございました。 S . Y

* 昨日の例会は、いろんな方の話を聞くことができました。会員同士の交流を深めたいと考えて、その機会を多く持ち、交流の場をメール等を使って・・・発展的な考え方もありました。ホスト・ディホストのつながりも、トラベラーのかたに、日本人のおもてなしの優しい気持ちが添えることにもなるでしょう。あまり会の事もわかっていませんが、初参加の方とか、我が家のちかくのかたもいらっしやったりで、これから、交流ができたらと思っています。これからも、よろしく願います。 A . T & A . K

* 支部長の濃やかな心配りに日頃感心していたところへ、S夫妻から背中を押して頂いて十年ぶりの例会出席をさせて頂きました。M夫妻、Tさん、Mさん、本当に懐かしく思いました。身近な友人の友人でいらしたTさん、Kさんにもお会いでき、しみじみと「辞めないでよかった」と思いました。新しい若い会員さんが増えていることも心強いです。会の雰囲気がとても好ましい方向に進んでいるのを感じ、この10年間の支部長はじめ会員の方々のたゆまぬ努力に感謝します。有難うございました。 W . A

議題

1、国内会議の報告と質疑

日本サーバス本部の会報を元に、国内会議について報告し、若干の質疑を行ないました。特に決まった事はありませんので、内容については、日本サーバス本部会報をご覧ください。

2、若い会員について

近畿にも若い方がたくさん入って下さった事、又、サーバス全体の若返りの必要性からも、若い会員について考えました。近畿では若い方は金銭的に苦しいので、3000円以上のサーバスの会合には、3000円を超えた分は支部会計から補助する事に決まりました。Servas InternationalにはYouthという組織があります。そこで日本サーバスも若い会員さんがその組織に入り活動出来ないかを、他支部の状況も頭に思い浮かべながら考えましたが、良い案は出ませんでした。

又、families in Servasという組織も出来ました。Sさんが登録されましたが、まだ新しいお知らせはないとの事でした。

3、来年の国内会議について

来年は日本サーバス創立50周年にあたり、国内会議は京都で開かれます。その概要について報告し(支部の会員様には既にメールで回していますので、それをご覧ください。)、協力体制について話し合いました。

2、トラベラー報告

イタリア旅行

泉南郡 M.Y

私は5月30日から6月14日までイタリア旅行を楽しんできました。ここに報告します。15泊の旅行で8家族の家庭でステイできたのは本当に幸運でした。最初に訪れたのはローマのSさん宅ローマの中心に居を構えておられ地下鉄の駅を出るとすぐそばにマンションがある。大きな庭つきのマンションだ。居間には鎧や何世紀も前に描かれた肖像画が沢山あり、博物館か美術館に来たような錯覚を覚えた。丁度、今日は仙台出身のピアニストNさんがチャリティ ホームコンサートを開かれていたのだが小生が到着したのはコンサートが終了した後だったので非常に残念だった。外国でこのように東日本大震災の被災者のためにチャリティコンサートをして活動しておられる姿をみて本当に心を打たれました。翌日はスペイン広場など観光をした。夜、息子さんのDさん



が運営している少林寺拳法の道場を見学させていただいた。彼は何度も日本にきたことがあり、流暢に日本語が喋れる。御弟子さんも交えてのレストランでのパーティとなった。ローマからミラノまで電車で約3時間だ。日本でEU RAILの鉄道キップを購入して行ったので電車での移動が簡単に出来た。Fさん一家はミラノ駅から地下鉄で30分程行ったところ瀟灑な住宅街の一角に住んでおられる。ご主人は技術者、奥さんは翻訳家だ。さすが技術者だ。日本から持参したノートパソコンにまるで魔法使いのように簡単に無線LANの設定をしてくれた。

翌日は楽しみにしていたレオナルド・ダ・ビンチの「最後の晚餐」を見に行っただ。日本で予約しておいた観光の半日コースだ。スカラ座の見学やドウオーモ博物館など見たあとサンタ・マリア・グラッチェ教会の修道院に着いた。これから「最後の晚餐」が見られるかと思うと胸が張り裂けそうだった。幅9.1m 高さ4.2mの大作、作品の人物が今にも動き出しそう。完全入れ替え制で一度に25人まで入ることが出来る。15分間しか鑑賞することが出来ない。作品が完成してから513年も経ているのに良く保存されているものだと感心した。

ミラノからバリーまでは約8時間の長旅だ。途中、アドリア海に面した海岸沿いの避暑地を車窓から眺めているとみんな本当にバカンスを楽しんでいるなと感じた。バリエッタの海岸は緯度から言うと函館ぐらいなのだがとても暑い。海岸で日光浴をしたり水泳を楽しんでいる。

バリーではF一家にお世話になった。とても気さくで明るい家庭だった。Mは16歳のとても可愛い女の子、Rは6歳のやんちゃ坊主。2人からパワーをもらった。

翌日、マテーラの町を見学した。ここは洞窟住居の町だ。まぶしい太陽の下、南イタリアの洞窟居住の町は真っ白な教会や奇妙な色の建物がとても印象的だ。1ユーロ50セント支払うと家の中を見せてもらえる。農地解放前の農民が住んでいたのであろう。こじんまりとした家だがとても温かみを感じた。



Fの家に帰ったらオーストラリアから3人家族のトラベラーが来ていた。夕食を一緒に楽しんだ後、彼らは次のユーゴスロビア

へフェリーで向かった。Fがコンサートに行かないかと誘ってくれたので喜んで御一緒させてもらうことにした。入口で30分程待っていたが今日の演奏会は中止だと関係者の説明。かなり文句を言う人もあって会場の中に入れてくれたがただ会場を見るだけだった。切符も発行しておきながらキャンセルするなんて日本では考えられない。Fとその友人5名とレストランで食事を楽しんだ。ピザと白ワインがとても美味しかった。

バリーからレッチェまで2等の電車に乗った。なかなか電車が発車しないのでどうしたのかなと思っていたら乗客と車掌がもめていた。日本でもたまにはこのような光景に出くわすことがあるが迫力が違う。そばにいて恐ろしかった。

レッチエではAさんのお世話になった。3人の子供さんは医者などとして立派に活躍しておられる。Aの友人とガリポリという港町までドライブした。細い石畳を歩いて行くと小さな教会がいくつもある。漁業を営む人が多いのだろう教会の中をみればそれぞれ良くなる。帰りにAの友人が個展をしていたので立ち寄った。素晴らしい絵を見せていただき満足した。会場ではワインのサービスがあった。



マルチーナフランカの駅に着いてJの家に電話した。ドイツ製のスマートという2人乗りのコンパクトな車で迎えに来てくれた。トランクがないのでひざの上に荷物をおいてかなり窮屈だったがわずか10分ほどなので問題なかった。とんがり帽子の石づくりの屋根の家に住んでおられる。Jはイギリス人だがこの地域が気に入って住んでいる。ピアニストだが腱鞘炎になられて今は休んでおられる。息子さんのLはロンドンフィルの首席奏者であったが今はタイで指揮者として大活躍しておられます。帰国後の6月19日に名古屋の東郷町でコンサートがありドボルザーク ソナチネ op100 など素晴らしい演奏を聴かせていただきました。娘さんはフランスで芸術活動をしておられ国際的に活躍しておられます。



2回目の訪問となったバーリではEさんでお世話になった。夜の町を案内してくれた。小高い丘の上にある古城の坂道やアドリア海に面した海岸を散歩するのはとても楽しかった。

イタリアで初めてバスに乗った。1ユーロ20セント支払うと75分以内なら何回でも乗れる。何故60分にしないで75分にしたのか不思議で聞いてみたら最長距離を乗ると75分らしい。なるほど納得した。昼食に久しぶりに日本食を食べたかったので日本食堂へ行った。12時に行ったら1時からオープンなのでその時間に来てくれと言われた。日本の感覚では通用しない。みんな昼食が済んだら昼寝の時間、商店はシャッターが下りる。

ナポリから17キロほど西へ行ったところにバーコリーという町がある。Kさんの家でお世話になった。目の前が海水浴場で土・日は沢山の人が海水浴に来る。6月の中旬というのに人がいっぱい泳いでいる。

翌日、Kさんが約70キロ程行ったところの山間部に別荘があり今から行くが君も行くか誘われたので喜んでいくことにした。高度800メートルの所にあり涼しかった。古い田舎町で細い路地をくぐり抜けると別荘がある。2階からの展望は最高だ。

翌日、Kさんが約70キロ程行ったところの山間部に別荘があり今から行くが君も行くか誘われたので喜んでいくことにした。高度800メートルの所にあり涼しかった。古い田舎町で細い路地をくぐり抜けると別荘がある。2階からの展望は最高だ。

最後に訪問したのはローマから約45キロ南へ行ったところにベレトリという町にお住まいのPさん宅だ。広大な敷地に大きな木に囲まれたところに瀟洒な家がある。

ご主人はプログラマー、奥さんは学校の先生だ。24日前に子供さんが生まれて大変忙しいところなのに受け入れて貰えて感謝している。小さな町だが立派な美術館がある。学芸員の方が付き切りで一点一点詳しく説明してくれた。



16日間の旅行であったがみなさんに本当に親切にしてください旅行を楽しむことができました。現地でもひたくりやいんちきタクシーには気を付けるように忠告を受けたがトラブルもなく素晴らしい旅行ができました。北のイタリア人と南のイタリア人の考え方の違いも少しは感じ取れたよう思います。

世界一会員の多い国、イタリアで色々体験できたことは本当によかったと思います。

この楽しい思い出は一生忘れることはないでしょう。

フランス旅行

堺市 H.N

Anuecy 6/20~21 D & A. N

彼等御二人の趣味はクワイアー。丁度、私たちが訪問した日の夜は、そのコンサートがあった。夜6時頃にアパートを出発し、30分ほど車で走った小さな村の小さい教会が会場。家もまばらなこんな村にも教会がある。ちらほらと会員が集まり前練習が始まった。延々と午後9時半まで。私はその間、この小さな村の散策。日が長いので、まだ十分明るいのだがチョット心細い。ポツポツとある人家の煙突から煙がの



ぼる。夕食の準備なのだろうか、のどかだった。9時過ぎに教会に戻る。Kはずっと練習を見ていた。音楽にそう関心のある人ではないので、さぞ退屈だっただろうと思いきや、一人ひとり真剣でこんな光景を見られてうれしいと言った。思わぬ返答で私もうれしかった。いざ本番。お客は出演者より少ない。次々と1時間半休み無しで歌われる。日本ではクワイアーというより合唱が盛んだが、さすがヨーロッパではクワイアーが多い。特にサーバスメンバーは趣味の欄にそう書く人をよく見かける。ドイツのサーバスもそうで、コンサートがある毎にその模様をパソコンで送ってくれる。11時に終わった。印象深かったメロディーと一緒に歌いながら教会の前の小学校へ移動。ここの体育館？室？で打ち上げパーティーが始まる。各自が持ち寄ったワイン・ビール・チーズ等で乾杯。それにしても、もう真夜中、我々は途中で出たが、驚いた事にさっき前

でアルコールを飲んでいたのでピューンと真っ暗な道を車で飛ばす。「いいんよ、たいして飲んでないから」。そう言えば他のフランスのサーバスの人が言っていたっけ。ちょっと前までフランスはとても交通事故が多かったが、違反アルコールの濃度を下げたので、随分減ったと。それでもアルコールが0で無くては許されるなんだなあ。甘い！ 生きた心地はしなかったけど無事に帰宅出来ました。

Nancy 7/1~2 Ms. C. L

当初は別のサーバスの方の家にスティする予定でしたが、英語を話せる御主人が出張という事で急遽Cさんを紹介されました。

電話での話し方がシャープ？な感じで、こわごわの訪問でした。言われた通り午後6時ピッタリに到着。門を開けてくれた彼女は宝塚の男役のような髪型のピリッとした女性、でも電話のようなピリピリ感はありませんでした。三人のお子さんがいらしたけど、すぐに外出、16歳の娘さんだけが残りました。イケイケ？音楽の専門学生で、アルコールは飲むは、煙草はスパスパ吸う、さすが？フランスの女の子と思いました。彼女を見ていると、うちの生徒達のなんて幼いこと！何曲かピアノを弾き合いましたが、サティがうまい。我々アジア人にとってのサティはなかなか表現が難しいのですが、血だなぁと感ずきます。彼女は絶対に母親には自分の演奏を聴かせないらしく、Cは、「貴女のおかげで娘のピアノが聴けた」と、とってもうれしそうでした。どこの国でもよく似ている。一方、異文化を感じたこと、夕方外出から戻って来たら、我々の洗濯物がきれいに畳まれていたのですが、これは私達でもすること。でも一枚一枚下着までアイロンがけがされていたのです。ビックリなのですが、フランスではそうするのが当たり前なのだそうです。私もさすがに下着にアイロンは、ありがたかったけど恥ずかしかった。夜は10時頃から、いい夜景が見られるという高台にまで散歩。クネクネと裏道を歩いて30分ほど、ずっと坂なので相当しんどい。でも彼女はランニングをしているというだけあって、サッササッサと歩く。もう夜景なんかいらんと思ったけど言えないよなあ。そして、その夜景に到着。ほんのちょびっと旧市街が



見える。このしんどさでこれか！でも、ありがとね。帰りに彼女の友人宅へ寄る。もう11時近いというのに、こちらの人は本当に夜に強い。翌日の朝、彼女と昨夜訪問した友達とKとはランニング。6時半からだよ。私は寝ていた。Kの後日談。キッチリした人だから遅れぬようにと、しっかりその時間に用意して待っていたら30分ほど遅れて起きてきて「えらい早いなあ」と言われたそう。おしまい

九州サーバス例会に参加して

3月に入会して、2回の近畿例会に仕事の都合で参加したことは、ありませんでした。九州夏例会の案内があり、O様に連絡して参加することになりました。会員の皆様にお会いすることを楽しみにしていました。

7月22日、泉大津港から阪九フェリーに、夫と私と愛車 iQ に乗って出かけました。新門司港に朝早く着きました。途中、道の駅、杵築城に寄りました。そして、集合場所である国東市安岐総合支所では、九州、中国、近畿地方から33名が集合、自己紹介をしました。今回は、国東在住のOさんが中心に計画されたそうです。ガイドは、市職員のKさんと、僧侶のMさんでした。国東半島は、両子山(あたごやま)から放射状に分けた六つの里を六郷と称し、この地に開かれた天台宗寺院を総

称して六郷満山と呼ばれているそうです。六郷満山は、奈良・平安・鎌倉の昔より、宇佐八幡(全国八幡の総本社)の庇護と影響の下に神仏習合の独特の寺院集団と信仰が作られたそうです。よく、説明に出てくる言葉でした。1日目は、瑠璃光寺(るりこうじ)・三浦梅園(みうらば

いえん)・泉福寺(せんぷくじ)・両子寺(あたごじ)を見学しました。お昼は、会員の皆さんの手作りのおもてなしでした。

宿泊場所は、国東市サイクリングターミナルでした。夕食時には、楽しく交流し、お風呂の後は、二次会のはじまりでした。自己紹介から始まり、例会、ゲーム大会の賞品もあり、にぎやかな夜でした。次回は、宮崎にて例会が開かれるそうです。広い範囲なので、泊りがけ交流です。

2日目は、摩尼尊嚴住職のお寺で、15分座禅体験・富来神社(とみくじんじゃ)・文殊仙寺(もんじゅせんじ)・涛音寮(とううんりょう)

ここで、フェリーの時間もあり、皆様とお別れしました。貴重な経験ができたことは、うれしく思いました。九州の皆様お世話になりました。

和泉市 A.K



3、トラベラー受け入れ報告

イスラエルのお客様

京都市 T.S

2011/7/27 Jさんは前日の京都の医学会議を終えられ、我が家へ電話を掛けて来られました。それ以前に LOI を受信していましたので、予定は把握していました。「明日、全日空ホテルの

ロビーで午後二時お会いしましょう」と約束を交わしました。22年前に一度日本に来られているが、長いサーバス活動の中で再び日本の土を踏む機会を得て東京を皮切りに、以前お世話になった金沢の人々とも懇談をされ、喜びを分かち合った後の京都再来の運びとなった様です。東日本大震災のお蔭で海外からの旅行者が激減している京都で、出席者4,500人のその様な国際会議が開催された事は主催者側に感謝しなければならないと昨今の諸事情から感じました。ホテルに着くと、自己紹介の後友人のDさんを紹介され一緒に金閣寺と竜安寺、仁和寺に行きたいと申し出に、どうぞ



と快くお返事しました。ホテル前から金閣寺行きのバスに乗り、道すがらお二人のお国柄事情などをお聞きしました。Jさんはサーバス会員歴の長い方で、1972年にイスラエルにサーバス組織が無い事に気付かれ、アメリカのコーディネーターとコンタクトを取られ、イスラエルのサーバス設立に尽力をつくされた。と聞き及んでいました。私も京都でイスラエルのサーバス会員を沢山受け入れているので、遠い国ではあるけれど、国土の環境(水が非常に貴重であること)若い人には兵役制度があることなど、幾つか興味深いお話を伺いました。マスコミなどでは決して取り上げられないお話でした。仁和寺へも回りたいが、竜安寺で庭園を拝見している内に閉館の時間になり、各京都の庭園の開館・閉館時刻を事前に調べられておられ、その準備の良さに流石、旅慣れておられる方とお見受けしました。東日本大震災や福島第一原発事故を受け、新エネルギー問題について、夕食後の時間は、それぞれのお国柄事情を踏まえたテーマで会話が弾みました。代替エネルギーを模索する日本にとっても「脱原発」から新たなエネルギー源に地熱発電の普及を提案されました。その他種々なお話がありましたが、その晩の時間だけでは終えることができませんでしたので、興味の尽きないテーマを後に残し、次回の再会を約束してお見送りしました。



・J.Lさんは、7月29、30日をH宅に、31日をKさん宅に泊られ、京都観光を楽しまれました。

H宅では、泉涌寺、東福寺、稲荷神社、光明院、清水焼の窯元を案内しました。清水焼はとて細かく手書きで絵付けがされている事に、とても感心して見入っていました。又、息子さんが星の王子様の日本語版が欲しいとの事で、図書館へ星の王子様の日本語版を見にいき、これで良いという事で、京都駅前の本屋で無事、星の王子様を買いました。

Kさん宅では、友人のEさんの車で、大原へ、朝市で、お弁当や、お野菜をショッピングして、大原の宝泉院、三千院でゆっくり、お庭拝見と、おしゃべりを楽しみました。大原の紫蘇畑や

棚田もエンジョイ、山の杉林まで、ドライブして、ピクニックランチを楽しみました。とても、楽しい、お話のしやすい人で、こちらも楽しみました。夜は、ソーメンと焼き鳥のディナー、シャンパンがあったので、二人で、シャンパンで、乾杯でした。 Good Day

音楽の都 Bonn からのお客様

京都市 K.K

Rさんは台風とともに我が家へ～

台風のおかげで、外出はままならず、Rさんのご家族のお話や、お住まいのBonnの話をたくさん聞かせていただきました。ベートーベンの生まれた町であり、ご家族皆さん音楽好きで、Rさんはチェロを、今回は福岡での世界中のアマチュアの演奏家の合同の演奏会に出るために、初めて日本に来られたとか。時間はたっぷりあるので、書道をやってみたいといわれるので、レッスンをいたしました。音楽をやっておられるので、さすが感がよくて、姿勢がいいのでびっくり。とても初めてとは思えない素晴らしい書ができあがり、名前も書き入れて仕上がりました。二人とも、時のたつのを忘れ、台風のことも忘れていました。



翌日は、下鴨神社、鞍馬に。さすがに、どこも人が少なく、神秘的な鞍馬の山を体験しました。夕方には、京大のキャンパスで、次のホスト役のYさんに会って、バトンタッチ。彼女は、Rさんの息子さんが、京大に勉強に来られていた時のお友達。初めてのもの同士、三人で騒々堂の喫茶店で、お話が弾みました。一晩だけでしたが、楽しい時間を一緒にできました。Rさんありがとう～

・ドイツからのトラベラー・K.Rさんは、8月30、31日、大津市のSさん宅に泊られ、サイクリング、お茶席、パン作り、地元の禅寺で坐禅を、9月1、2日は京都のH宅に来られて、稲荷神社、東福寺や奈良の散策を楽しまれた後、3日にKさんの所に行かれました。

4、お願いとお知らせ

支部長



・例会の会場について

若い会員さんも多く入られた事から、例会費用が高くならないようにしたいと思い、今回は会場を借りてお弁当という実施となりました。皆様も安く借りられる会場がありましたら、お知らせ下さい。又、来年も1度は会員宅で行ないたいと思いますので、例会場を提供して頂ける方がいらっしゃいましたら、ご一報ください。

・総会について

例年年末に行っています支部総会を、今年も例年と同じく大阪の弥生会館で、12月11日(日)の夕方から行なう事になりました。音楽は Keith Hills さんというパーカッションの方をお招きします。まだ、詳しい事は決まっていますが、皆様、宜しくご予定下さい。

・来年のサーバス国内会議について

来年のサーバス国内会議は、サーバス創立50周年に当たり、京都で、3月17,18日に行ないます。特に創立50周年という事でいつも以上に良い国内会議にしたいと思いますので、多数のご参加とご協力をよろしくお願いします。

・トラベラー報告とトラベラー受け入れ報告について

トラベラーは東日本大震災以来、激減していますが、受け入れられた方、一言メッセージを添えて支部長までお知らせ頂けるようにお願いします。又、サーバス旅行に行かれた方も、レポートを寄せて下さい。